

## たくさんお米を食べよう！ 食べて支える日本のお米！

9月26日 第9地域委員会



小俣職員

商品案内「ごはんおかわり！」コーナーでおなじみ、商品部・小俣徹職員が講師の学習会を開催。東都生協の産直米は、全て生産者の顔が見える「産地指定米」。北海道から鹿児島まで、30以上の産地で収穫された個性豊かなラインアップです。土づくりや昔ながらの天日干し、有機栽培や化学合成農薬・化学肥料に頼らない米作りの取り組み、アイガモロボの活躍や無洗米の技術など、産直米にまつわる熱いストーリーが盛りたくさん。参加者から「もっと知りたい」「続編を！」とリクエストも。お米愛深まる企画でした。



「お米を真ん中に」を合言葉に、米作りを未来につなぐ運動推進中！



HP「お米を真ん中に」▶

## 2022年度総代 オリエンテーション開催

10月25日 第2地域委員会

組合員から選ばれた550人の2022年度総代が、総代の役割と今後のスケジュールについて確認を行いました。第2地域の会場（渋谷商工会館）では、「総代のてびき」「組合員活動と組織のあり方骨子案」の説明動画を上映後、出席した30人の総代が経験年数などに応じて4グループに分かれてディスカッション。「多くの方が組合員活動に関わっていることが分かった」という感想や、「若い人が気軽に集まれる場所があれば」といった意見も出ました。総代の皆さんは、2023年6月15日開催予定の通常総代会までに3回、次年度の方針づくりに向けて重点課題の論議を行います。



## 「除菌から助菌へ」 学習会

10月18日 田無北ブロック

東都人材バンク林佳子さんによる学習会。コロナ禍では、アルコールで除菌・殺菌が当たり前のよう日常ですが、体に良い菌まで殺菌してしまうのではなく、微生物の働きを助け育てていく「助菌・育菌」が大切とのこと。酵母菌の働きが生きている漬物やキムチ、発酵食品のみそを使ったみそ汁などを意識して取るようにすれば、健康にもつながります。昨今話題の腸内細菌のお話も伺い、とても勉強になりました。新型コロナウイルス感染症対策で休止後の久しぶりのブロック企画、みんなで顔を合わせ和気あいあいと学び、楽しい時間を過ごしました。



## インフォメーション



理事会報告  
(抜粋)

〔2022年度第6回定例理事会 2022年10月20日開催〕

- 〔審議事項〕 ● 2022年度下半期重点確認の件
- 草加要冷セットセンター建設工事請負会社選定および関連費用支出の件
- セットセンター関連システム（WMS）開発業務委託先変更の件
- ハラスメント防止規程制定の件 他
- 〔報告事項〕 ● 2022年9月度決算報告
- 「未来につなぐみかんの木」大矢野サポーター募集の件
- 東京南部生協からの事業譲渡における取得価格に関する補記事項の件 他

今後の理事会日程(予定) 1月19日(木)、2月16日(木)

### 10月のわたしたち

2022年10月20日現在 ※[ ]内は前年比

組合員数	257,200人	[99.6%]
加入	4,544人	[93.8%]
脱退	4,524人	[81.5%]
総事業高	20,312,704千円	[94.6%]
共同購入事業	19,489,597千円	
弁当配食事業	221,020千円	
生活文化事業	120,781千円	
生活支援事業	39,401千円	
その他事業	441,905千円	
★出資金	6,753,475千円	[101.2%]
★1人あたりの出資金	26,258円	[101.5%]
★1人あたりの利用高	6,089円	[99.1%]

## きょうされん第46次国会請願署名とリサイクル洗びんセンター支援募金協力のお願い

### きょうされん第46次国会請願署名

#### 障害福祉についての法制度拡充を求める請願署名にご協力を

新型コロナウイルス感染拡大が長期化する中、障害のある人たちのいのちと健康を守るため、政府にはこれまで以上に実効性のある対応が求められています。また、物価高により大きな影響を受けている障害のある人の生活と障害福祉事業所の運営を守るための所得や助成措置が必要です。

障害のある人たちの「いのちの尊さ」「人としての尊厳」が守られるよう、署名にご協力をお願いします。

※署名用紙は2月1回(1月16日～20日配付)の商品案内と一緒にお届け。署名された用紙は、供給時にOCR注文書と一緒にご提出ください。

昨年は東都生協組合員からの5,231筆を含む70万6,000筆を超える請願書を国会に提出。ご協力ありがとうございました。

受付期間:1月16日(月)～3月31日(金)

### リサイクル洗びんセンター支援募金

東都生協のリユースびんの洗浄などを行っているリサイクル洗びんセンターは、リユースびん事業の伸び悩みにより、運営が大変厳しい状況になっています。今後の仕事の確保、収入維持のために、機械の補修や設備更新などを支援していく必要があります。同センターで働く人々がより良い環境で働けるよう、募金にご協力ください。

#### 募金の受付期間と方法

受付期間:1月23日(月)～2月17日(金)  
申込番号:365947(1口200円)  
募金方法:2月1回～2月4回企画のOCR注文書に申込番号と口数を記入して提出(インターネット注文でも受け付け可能)。

※領収書の発行はできませんのでご了承ください。

昨年は2,846,200円の募金が集まり、洗びん作業に使用するカセイソーダ水循環ポンプ工事などに活用する予定です。ご協力ありがとうございました。

## 物流の要!「東都生協 要冷・ドライセットセンター視察」

9月22日 理事研修会



組合員が注文した商品はどのようにセットされて届けられるのか...組合員理事が現在稼働中のセットセンターを訪ね視察しました。



八潮セットセンターは、お米やパン・日用品などのドライ商品をセットする施設。組合員に届く青い箱をレーンに並べるところから作業がスタート。箱の進路には810もの商品棚があり、スタッフは、ペアを組んでチェックを行いながら商品を丁寧にに入れていきます。1箱約2秒で進むので、1秒でも遅れたら全体に影響が出てしまう作業、チームワークはさすがです。そして最後に点数チェック。

新座セットセンターは、冷凍・冷蔵・青果を扱う施設。冷凍と青果のセットを、時間帯別に同じレーンで行うため、作業は深夜までかかるそうです。冷凍の場合、作業用の箱に商品お届けポリ袋をセットし、注文品を入れていきます。セットチェック後はマイナス25度の保管冷凍庫へ。

青果は、産地で袋詰めされたもの、大箱で入荷したものを規格に分けたりカットしたりして袋詰めし、生産者カードを同封。玉ねぎやじゃがいもなど、水分や温度差で結露が発生しやすい野菜を紙袋に入れる理由を、ここで知ることができました。



## 2023年 年頭ごあいさつ



理事長  
風間 与司治

明けましておめでとうございます。

コロナ禍の不安は払拭されてはいませんが、確実に日常が戻りつつあります。今年是对面による活動も期待できそうです。一方、円安と資源高による物価高騰はくらしを直撃し、事業経営も大変厳しくなっていくと思われれます。ロシアの侵略戦争は核兵器使用の脅威も内在させ長期化の様相です。民主や平和が脅かされ、食料確保や地球環境も深刻化して先の見えない時代ですが、多くの人々が協同組合に集うことで、つながりを強化して、人や社会に優しい活動ができることを願っています。

今年には東都生協設立50周年を迎えます。生産者や取引先、関係者への感謝を真ん中に、さまざまな企画を準備しています。第一の創業期ともいえる大きな節目に当たり、理念と「2030年ビジョン」を旗印に、変化する時代環境にしっかりと適応して、未来に続く持続可能な事業と活動を協同の力で再構築していきます。皆さまのご健勝とご発展を祈念いたします。新年のごあいさつとさせていただきます。